

重要なライフラインを担う企業だからこその備え

地域社会の発展とともに成長を遂げる企業

上野都市ガスは、「家庭生活や産業界に欠かすことのできないガスエネルギーを、安定して確保するとともに、お客様に安心してご使用頂けるよう安全を心がけ、快適なくらしのお手伝いをしております。」(上野都市ガス 小園氏)

三重県伊賀市に位置し、昭和2年の創業以来地元密着のガス会社として地域とともに発展してきた。「地域社会において重要なライフラインを担っていることから、災害に備え、ガス導管設備の被害を最小限に抑えること、又、被災した後、早期復旧が行えるよう、あらかじめ準備しておくことが重要課題です。」(小園氏)

日頃から防災意識をもって行動する

「万が一 대규모災害などで被災した場合、早期復旧が重要任務となるため、復旧対策を事前に策定しています。また、職員が復旧作業にあたるため、非常用電源の確保や通信の多重化(災害時優先電話、衛生携帯電話等の設置)をすすめています。さらに社内における非常時の連絡体制や人員行動計画をしっかりと明示することで、大災害に備えています。」(小園氏)

また、防災訓練では大規模災害を想定し、迅速に行動できるよう一人ひとりの意識を高めています。

ラップオン・トレッカー2を備蓄として導入した決め手は臭いと衛生面。長期的に復旧作業を行うためには職員の方々が安心して使用できるトイレが求められます。



Interview



上野都市ガス株式会社
工務部導管グループ
小園 稔 様